

3.3 アジア船主フォーラム (ASF)

3.3.1 ASF 総会

第 24 回 ASF 総会は、韓国船協の主催により、平成 27(2015)年 5 月 18 日から 20 日にかけて、韓国・済州島で開催された。当協会から、朝倉会長をはじめ工藤・武藤・小林・鈴木各副会長(役職は当時)他が出席した等、アジア 8 地域、13 船協(日本、韓国、中国、台湾、香港、ASEAN(ブルネイ、インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム)、豪州、インド)から約 230 名の代表が参加した。

ASF は、平成 4(1992)年に第 1 回総会(当協会主催)を開催して以来、メンバー国/地域の船主協会が北から南の順で毎年議長を回り持ちしながら総会を開催しており、毎年の年次総会の際に 5 つの常設委員会(船員、 SHIPPING・エコノミクス・レビュー、船舶保険・法務、航行安全・環境、シップ・リサイクル)がそれぞれ中間会合を開催している。5 つの常設委員会の構成および各委員会への当協会代表(平成 27(2015)年 5 月 19 日時点)は【資料 3-3-1-1】のとおりである。

第 24 回 ASF 総会では、総会前に各常任委員会の個別会合が開催され、主要議題の状況について意見交換された。その後の総会においては、前年度決算・当該年度予算や次期議長および副議長等、ASF の組織に関する事項が審議され、当協会が委員長および事務局を務める SHIPPING・エコノミクス・レビュー委員会の委員長が工藤泰三当協会副会長(役職は当時)から村上英三川崎汽船社長への交代も承認された。また、各委員会委員長から 1 年間の活動概要が報告された。総会の後には、ICS 等の国際海運団体や、造船・船級団体等と意見交換する「SHIPPING・フォーラム」が開催され、海賊、避難港、スエズ・パナマ運河通航料、シップリサイクルといった主要課題について活発な議論が行なわれた。

総会終了後には、海賊問題や、船舶からの CO2 排出規制、スエズ・パナマ両運河通航料問題等に関する ASF の意見をまとめたプレスリリース(【資料 3-3-1-2】参照)が発表された。

次回第 25 回総会は、平成 28(2016)年 5 月に中国船主協会の主催により、中国・上海で開催される予定である。

3.3.2 各委員会における検討状況

(1) SERC (SHIPPING・エコノミクス・レビュー委員会) 中間会合

SHIPPING・エコノミクス・レビュー委員会(Shipping Economics Review Committee: SERC/事務局:当協会)は、平成 28(2016)年 3 月 4 日に兵庫県・神戸市で第 28 回中間会合を開催し、ASF メンバー船協から 7 カ国/地域の代表 17 名が出席した。

同会合では、村上英三委員長(当協会副会長)が議長を務め、海運各トレードの状況や、環境規制/贈収賄問題などの議題について外部識者による講演を交えた意見交換が行われた他、船社間協定に対する独占禁止法適用除外問題、パナマ運河通航料問

題についても率直に議論された。(会議の概要は【資料 3-3-2-1】、出席者は【資料 3-3-2-2】ご参照)

(2) SC (船員委員会) 中間会合

船員委員会 (Seafarers Committee: SC) は平成 27(2015)年 10 月 20 日に中国・北京で第 21 回中間会合を開催した。同会合では、中国、台湾、香港、日本、韓国、アセアンの各船協が出席し、Fu Xiangyang 委員長 (中国船協) の下、ILO 海上労働条約や改正 STCW 条約に係る各国の取り組み状況等について意見交換が行われた。

(3) SILC (船舶保険・法務委員会) 中間会合

船舶保険・法務委員会 (Ship Insurance and Liability Committee: SILC) は平成 28(2016)年 2 月 23 日に香港で第 21 回中間会合を開催し、中国、台湾、香港、日本、韓国、アセアンの各船協が出席した。同会合では、Robert Ho 委員長 (香港船協) の下、プレステージ号に関するスペイン最高裁判決の影響、船員の送還/死亡又は長期障害に関する金銭的保証の提供、避難港の問題などに関して意見交換が行われた。

(4) SNEC (航行安全・環境委員会) 中間会合

航行安全・環境委員会 (Safe Navigation and Environment Committee: SNEC) は中間会合を以下のとおり開催し、Esbén Poulsen 委員長 (シンガポール船協) の下、ソマリア沖・アデン湾やマラッカ・シンガポール海峡諸海域の海賊問題、IMO で議論されている船舶の実燃費データを収集・報告する「燃費報告制度」、温室効果ガス削減問題など海上安全・環境保護に関連する諸課題について意見交換を行った。

第 29 回中間会合:平成 27(2015)年 9 月 16 日 於 シンガポール
(中国、台湾、日本、韓国、アセアンの各船協が出席)

第 30 回中間会合:平成 28(2016)年 3 月 18 日 於 シンガポール
(中国、香港、日本、韓国、アセアンの各船協が出席)

(5) SRC (シップ・リサイクリング委員会) 中間会合

シップ・リサイクリング委員会 (Ship Recycling Committee: SRC) は、第 19 回中間会合を平成 28(2016)年 3 月 28 日にベトナム・ハノイで開催し、台湾、香港、日本、アセアンの船協が出席した。同会合では、Frank Lu 委員長 (台湾船協) の下、平成 27(2015)年 10 月に実施した ASF によるインド・リサイクルヤード訪問等の結果を含め、本問題を取り巻く状況について認識を共有するとともに、日本海事協会 (NK) を招聘してヤード認証に関する解説を得た。また、環境適合型ヤードの拡充や香港条約早期発効に向けた取り組み等について意見交換を行った。

3・3・3 ASF 会長会議

ASF 加盟船協会長で構成される ASF 会長会議は、平成 27(2015)年 5 月 18 日に韓国・濟州島で ASF 総会に併せ第 17 回会合を、同年 10 月 19 日に中国・北京で第 18 回会合をそれぞれ開催した。

いずれの会長会議も、ASF の組織、会費や予算案等、ASF の運営に関わる問題や、ASF の活動活性化に向けた方策について議論された他、各常任委員会の活動について意見交換された。